



合唱コンクール “本気” で取り組んだ歌声はどうでしたか？

◎11月18日(木) 合唱コンクール 成長を感じ、涙しました！

体育大会から1カ月、朝練、昼練、放課後練とクラスで取り組んだ合唱コンクール。1年生はまだ、人前で歌うことに恥ずかしさを感じているのか、緊張したからか全体的に声量が小さめでしたが、それぞれのクラスが自分たちの持ち味を出して披露してくれました。2年生は、司会の生徒会役員が良い緊張感で進行していたのでみんなの真剣さが伝わり、よく声も出ていました。声変わりをした人もいて、クラスの色が良く出ていたと思います。3年生は、最初の全体合唱「群青」から気合がはいって素晴らしく思わず涙が…その後、どのクラスも本当に歌いこんでいて、ハーモニーはもちろんのこと、歌に込められた思いを見事に表現していて、審査の甲乙つけ難いほどの歌も完成されていました。3年間の成長を感じる素晴らしい歌声でした。今年それぞれの学年だけでしたが、たくさんの保護者の方に来ていただきました。ありがとうございました。



◎10月24日(金) 地域清掃と進路説明会

生徒会と部活動に所属している1,2年生のみなさんとPTA、地域の民生委員の方々が協力して地域清掃を行いました。学校内だけでなく、下松駅周辺・桜台公園・西代公園・門前公園・上松第1公園を約300人が手分けして清掃しました。民生委員会からは参加したみなさんにクリアファイルをいただきました。また、15時から体育館で進路説明会を実施しました。





◎10月31日 3年生がニュージーランドの学生と英語で交流しました。

3年3組の生徒がニュージーランドの学生と英語でクイズを出し合ったり、それぞれのお国柄について質問したりしました。ハロウィーンのコスチュームでアイスブレイキングしつつ、良いコミュニケーションがとれました。

◎11月7日(金) JK(授業改善)公開授業

大阪府の指導方法の工夫改善定数を活用した授業改善の推進校・大人教専門委員会人権が尊重された学校づくり推進事業の公開授業を実施しました。各学年2クラスずつ、さくトレの後、「探究的な授業」の1コマを教育委員会や他校の先生方に参観していただきました。その後、体育館で奈良教育大学特任教授の小島亜華里先生に「探究的な学びの単元デザイン」という演題でお話していただきました。



◎11月11日(水) 校区民生委員さんのあいさつ運動



11月で校区の民生委員さんの引継ぎがあります。長年、桜台中学校の正門であいさつ運動をしていただいた方の中で引退される方々がいました。本当にありがとうございました。

「あいさつ」は人と人との心の架け橋であり、人間関係を良くしてくれます。みなさんを見守って関わってくれている周りの人々にしっかりあいさつをしてほしいです。

◎11月21日(金)

税についての作文コンクール表彰式

3年生の さんの作文『「公平」とは』が
納税貯蓄組合大阪府連合会優秀賞を受賞しました。
裏面に掲載していますので、読んでください。



「公平」とは

岸和田市立桜台中学校

最近、「税金って高いな」と感じる事が増えました。たとえばコンビニでなにかを買ったとき、消費税が意外と高くて驚くことがあります。少しずつ社会の仕組みに興味をもち始めた今、「税ってなんのためにあるんだろう？」という疑問から、税がある意味を調べてみました。税金は、国や地方自治体がさまざまなサービスを提供するための資金源とされているそうです。そして、税は私たちの生活に深く関わっており、「誰かが払っているもの」ではなく、「みんなで支え合っているもの」だと感じます。

また、ニュースなどで税の無駄遣いや不正使用の話を聞くと、「自分の払った税金がそんなことに使われているのは納得できないな」と感じることもあります。だからこそ、私たちはただ税金を払うだ

けでなく、その使い道にももっと関心を持つべきだと思います。例えば話ですが、今は大阪の高校が所得関係なく無償化になっていきます。ですが、私の姉の頃は授業料無償化に所得制限があり、私たちの家庭は無償化対象外でした。「対象外になれるだけの所得を得られていて幸せな反面、我が子の授業料はもちろん自分たちで払い、なおかつ人の子どもの分まで頑張って働いて支払っていると思うと虚しくなる」とお母さんが小さい声で言っていたのが印象に残っています。そのような考え方の人も一定数いるはずで、そこで、「税金はすべての国民にとつて公平であること」が定義づけられているということとを思い出してください。この件に限らず、税は本当に公平であると言えるのでしょうか。

話は変わりますが、私たちは税についてもっと「自分ごと」として考えるべきだと思います。また、自分たちの暮らしや未来、そして日本という国をどうしたいのかという問いでもあると思っ

ています。誰かに言われて仕方なく払うものではなく、自分たちの未来を形づくるための「投資」でもあるからです。だからこそ税を通じて自分の考えを持つことが、これからの社会には求められているのではないかと思います。なぜあれだけ多くの税金を払っているのに教育や福祉では予算不足と言われているのか、消費税がどんどん上がるたびに生活が苦しくなっていく、税金は本当に正しく公平に使われているのかなどの疑問も多々あります。その疑問を解決するためにニュースや学校の授業などを通じてより税について学び、自分の意見をしっかりと持てるようになりたいです。そして将来、国を支える納税者として胸を張って生きたいです。